



箕輪進修高校 進路指導室

2013. 1. 28

3, 4年生用 No.78

石の上にも三年 会社は安易に辞めないこと



毎年4月末頃から、前年度に生徒が就職した会社訪問をすると、「もう会社を辞めた」という話を聞きます。新卒者の退職割合として七五三という話があります。中卒で3年以内に会社を辞めるのが7割。高卒で5割、大卒で3割ということです。この不景気の時代ですから最近はそのほど多くないと思いますが、少なからぬ者が中途退職していることは事実です。

もとよりこの**就職難の時代に一度会社を辞めてしまうと、次の会社がなかなか見つかりません**。就職時選択肢が少なかった分自分の希望する会社に入れなかったという人も多いと思いますが、ちょっとしたことで我慢が出来ずやめたり、もっといいところがあると思って辞めても現実にはそれほど大差はないはずで、とかく隣の芝は良く見えがちです。しかしどこの会社も苦しいし、どこの会社に移ってもそれぞれ色々な問題を抱えているものです。

昔から「石の上にも三年」という言葉がありますが、**せめて3年くらいないと仕事の全体が見えず仕事の面白さも分からないもの**です。明らかに転職によりスキルアップに繋がればよいのですが、単純に我慢が出来ないから会社を変わるというのは、今の世の中ではリスクが大きいでしょう。**会社が自分に合わないではなく、自分で合わせる努力が必要**なことをもっと自覚して欲しいものです。

また安易に会社を辞めると、次の年から本校から採用してもらえないということが最近増えています。**後輩に負の遺産を残さないで欲しい**ものです。

若い時は後先考えず行動しがちですが、会社を辞めるか否かはくれぐれも慎重な判断をして下さい。**我慢できるものならば出来るだけ我慢し会社は安易にやめないように心がけましょう。**



整理整頓の大切さ

年明けに自宅で大切な書類を紛失したことに気がつきました。それはこれまで比較的大切な書類だからと封筒に入れて定位置に置いており年末には確認をしていたのですが、その直後の大掃除の際にうっかり他のものに紛れて処分したようです。自分で自分が情けなくなっていました。その封筒に「貴重品」と記入したり、特別の所に整理して置きさえすればと後悔をしています。

整理整頓はよく言われる言葉ですが、出来るようで中々出来ないのが人間の常です。机の上が一見散らかっているように見えても自分なりに定位置に置いてあり、普段はそれで通用していてもいざとなるとそれがなかなか見つからないということがありがちです。**ちょっとした工夫や、日頃から整理を心がけると何でもないはず**ですがそれが出来ないのです。

「**いらぬものはすぐに捨てる**」を徹底して心がけている先輩が以前の職場にいました。大企業に勤めていた経験のある人で、企業時代はいつ転勤を命じられても良いように机の上も中にもほとんど余計なものを置かないように訓練されていたとのこと。私の机の上には次々にいらなくなった書類がたまっていき、大分期限が経った頃処分をしていますが、常にきちんと整理したり捨てるということが出来ません。

整理整頓とは見た目を綺麗にすることではなく、不要品は処分し、必要なものはいつでも取り出せるようにきちんと整理しておくことでしょう。皆さんも社会人になるに際し整理整頓を身につけて欲しいものです。